

主日礼拝

2026年2月15日
午前10時30分

前奏 「目を上げて、わたしは山々を仰ぐ」
(T.タマリ)

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

- 「目を上げて、わたしは山々を仰ぐ。
わたしの助けはどこから来るのか。
わたしの助けは来る 天地を造られた主のもとから。」
(詩編 121: 1~2)

頌栄 24 「たたえよ 主の民」

たたえよ主のたみ、みつかいととも
に、めぐみにあふれるちち・子・せいれいを。
アーメン。

十戒交読

- 司式者 わたしはあなたの神、主であって、あなたをエジプトの地、奴隷の家から導き出した者である。
- 会衆 サント サント サント (讃美 85)
- 司式者 あなたはわたしのほかに、なにものをも神としてはならない。
- 会衆 主なる神よ、われらをあわれみ給え。
- 司式者 あなたは自分のために、刻んだ像を造ってはならない。
- 会衆 主なる神よ、われらをあわれみ給え。
- 司式者 あなたは、あなたの神、主の名を、みだりに唱えてはならない。
- 会衆 主なる神よ、われらをあわれみ給え。
- 司式者 安息日を覚えて、これを聖とせよ。
- 会衆 サント サント サント (讃美 85)
- 司式者 あなたの父と母とを敬え。
- 会衆 主なる神よ、われらをあわれみ給え。
- 司式者 あなたは殺してはならない。
- 会衆 主なる神よ、われらをあわれみ給え。
- 司式者 あなたは姦淫してはならない。
- 会衆 主なる神よ、われらをあわれみ給え。
- 司式者 あなたは盗んではならない。
- 会衆 主なる神よ、われらをあわれみ給え。
- 司式者 あなたは隣人について、偽証してはならない。

- 会衆 主なる神よ、われらをあわれみ給え。
司式者 あなたは隣人の家を貪ってはならない。
会衆 サント サント サント (讃美 85)

85 「サントサントサント」

サント サント サント、こころをこめて、さ
San - to, San - to, San - to, i Mi cor - a - zón te a - do ra! Mi
さげよういのり、せいなる主に。
Cor - a - zón te sa - be de - cir: i San - to - res Señ - or!

賛美 21-1,2 「主をほめたたえよ」

Thandhaanal thudhippoomee THUDHI (TANDANEI)
詞: V. Maasilamaani, 1856? - 1932 曲: V. Maasilamaani, 1856? - 1932

1 主をほめたたえよ。 うたえハレルヤ。
2 主のすくいをしれ。 十字架のうえで
よろこびをもて主をほめたたえよ。
なしとげられた主のすくいをしれ。
手をうちつつことをなせうたえほめよかみのみわざ。
おおきなあいつくしめで主はあなたをみいだされた。
みわざ。主をほめたたえよ。
さされた。主をほめたたえよ。

1 主をほめたたえよ。 歌えハレルヤ。 2 主の救いを知れ。
よろこびをもて 十字架の上で 成し遂げられた
主をほめたたえよ。 主の救いを知れ。
手をうちつつ 琴をなせ、 おおきな愛 慈しめで
歌え ほめよ 神のみわざ。 主はあなたを見いだされた。
主をほめたたえよ。 主をほめたたえよ。

祈禱

献金

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくは み名をあがめさせたまえ。
み国を来らせたまえ。
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ。

国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
なればなり。
アーメン。

賛美 32 「キリエ・エレイソン」

キリエ エレ イソン キリエ エレ イソン
しゅよ あわれみを しゅよ あわれみを しゅよ あわれみを

聖書 マルコによる福音書 4:35~41

新約(新共同訳)P68

35 その日の夕方になって、イエスは、「向こう岸に渡ろう」と弟子たちに言われた。36 そこで、弟子たちは群衆を後に残し、イエスを舟に乗せたまま漕ぎ出した。ほかの舟も一緒であった。37 激しい突風が起り、舟は波をかぶって、水浸しになるほどであった 38 しかし、イエスは艫の方で枕をして眠っておられた。弟子たちはイエスを起こして、「先生、わたしたちがおぼれてもかまわないのですか」と言った。39 イエスは起き上がって、風を叱り、湖に、「黙れ。静まれ」と言われた。すると、風はやみ、すっかり凪になった。40 イエスは言われた。「なぜ怖がるのか。まだ信じないのか。」41 弟子たちは非常に恐れて、「いったい、この方はどなたなのだろう。風や湖さえも従うではないか」と互いに言った。

賛美 357 「カに満ちたる」

The Lord of our God is clothed with might
詞：Henry K. White, 1785-1806
ELLACOMBE
曲：Württemberg Gesangbuch, 1784

1 ちからにみちたる主なるかみは
2 さかまくあらなみきしをうちて
3 あらしはたけりてやみはふかく
4 せかいのくに、そのしはいしゃ、
かぜさえみむねのままにおさむ。
かまるとどろきせまるときも
たずえのとりすうちたたけど
みかみのみむねをおののききけ。
みことばひびかせかたるときは
ちからにみちたる主のみうでは
ふかきみころのつくりぬしは
みわざをあがめてうやまいつ
かがやくたいようもここにとまる。
たちまちらしをしづめたもう。
みえざるみ手もてまもりたもう。
みまえにきたりてみ名をほめよ。

説教 「勇気をもって漕ぎ出そう」

賛美 456 「わが魂を愛するイエスよ」

Jesus, lover of my soul
詞：Charles Wesley, 1707-1788
MARTYN
曲：Simeon B. Marsh, 1798-1875

わがたましいを あいする イエス よー、
なみはさかまき かぜふき あれてー、
しずむばかりのー わが身をまもりー、
あめのみなどに みちびきたまえー。

- | | |
|---|--|
| 1 わが魂を愛するイエスよ、
波はさかまき 風ふきあれて、
沈むばかりの わが身を守り、
天の港に みちびきたまえ。 | 3 主の名によりて すべてをゆだねん。
罪のこの身を あわれみたまえ。
弱きをささえ 心いやし、
恵みとまこと 満ちさせたまえ。 |
| 2 われには他の かくれがあらず、
ゆきなやむ身を み心にとめ、
たよるものなき わが魂を
つばさのかけに やどらせたまえ。 | 4 主こそ尽きせぬ いのちの泉。
たえず湧きいで ころろにあふれ、
われをうるおし、 渴きをどめ、
とこしえまでも やすきを賜え。 |

派遣

司式者 主は言われます。
「わたしは誰を遣わすべきか。」
会衆 わたしがここにおります。
わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン

アーメン アーメン アーメン

後奏 「わたしのすべてを主の手にゆだねて」
(M.レーガー)

司式 大代 恵
説教 向井 希夫牧師
奏楽 玉理 照子